

# 新たな動労千葉破壊策動を粉碎せよ!

日刊  
**動労千葉**

81.6.1

No.753

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五六・六八巻(国鉄)三二七二〇七

## 不当処分を賛美し、合理化に協力する スト破リ「本部」反動分子・土屋一派を許すな

5月29日ごろより、動労千葉組合員宅に新たな組織破壊ピラが郵送され始めた。また同時に一部で「本部」反動分子がコンコンと猫なで声で家庭訪問までしようとして摘発され、何の効果もなく逃げ返った。差出人「動労千葉地本」なる、この封書の中味は、例によって「本部」反動分子特有の弾大ぶった「おどし」と、パテンに蒞ちた猫なで声の自信のない「泣き事」のピラである。

「本部」委員長・八鍬重一とデッチ上げ「千葉地本」委員長・山下庄一郎の名を並べ、どこかのスーパーマーケットの期限つきパッケージの御案内よろしく「6月20日までなら、まだ間に合います。お早目に御一報下さい」などと、無内容で卑屈な言葉を並べて、動労への復帰を哀願し、連絡先の住所、電話番号が書きとえてあるというものである。

### 組織的「ミリ貧」にさせる「本部」派

なげゆえに今日、このような破壊ピラを出してきたのか。

これこそ、二年間におよぶ数億円の金をつぎこみ、数万名の千葉再建オルグ職員、革マル派学生を先頭にした79年4月津田沼襲撃、更には80年4・15津田沼スト破り襲撃―権力当局への弾圧・処分要請等々という、およそ労働運動にあるまじき反動的・卑劣行為による動労千葉破壊策動がことごとく破産した結果の、いやは最後の絶望的組織破壊策動である。

自らの組織的危殆「ミリ貧」(短期転勤者が次々とその局に帰任していったあかつきは、せいぜい50名足らずの先細り集団でしかない!!)の破産的実体をおおいかくし、何とか全国大会をパテン的にのり切らんと、このようなパテンと泣き事のピラや家庭訪問、あるいは銚子支部への破壊策動等に血道をあげる「本部」反動分子とこの手先を怒りをこめ粉碎し尽さねばならない。

### 誰一人として信用しない、復帰を哀願

今回の元マとパテンと「おどし」にもならない「ピラ」を信用する動労千葉組合員は、一人としていない。

そもそも、動労をセクト的に私物化し、喰いつけし、当局の尖兵として合理化を推進する輩、警察のスパイを引

証人にして「元本マ」運動で組合員を引きまわして恥じない輩、権力に守られて白昼公然と職場を襲撃し支部長に重傷を負わして平然と居る輩、スト破りを行い、当局に頼って動労千葉処分を要請する最も卑劣な労働者の風上にも置けぬ連中が、われわれにむかって、恩赦だの、復帰を許すだの、オコがましい限り、笑止千万な話だ!

オ二に、わが動労千葉の三月ジェット決戦に対するスト破りと敵対につりて、彼らは一体何と言っているのかれしよ

うから、列車を運転してもスト破りではない「デッチ上げ」(千葉地本情報No.17)。―スト破りをする時は「組織が違つから」と言い、動労千葉破壊「解体攻撃」のための「ピラ」では、猫なで声で「あなた方は、まだ動労(本部)組合員ですヨ」などと泣き事を言っているのである。

われわれは、こんな卑劣な「本部」革マル反動分子とのお先棒かつぎの山下、土屋ら一部右翼的裏切り分子を絶対に許さない! 組織破壊攻撃を粉碎し、動労大改革へ前進せよ!